

館山の海を愛したジャック・マイヨール

人生哲学伝えるメッセージ展

館山病院で

館山の海を愛したジャック・マイヨールさんのメッセージ展が、館山市長須賀の館山病院ギャラリーで始まった。誰とも争わず、自然と調和するイルカのように生きようという人生哲学を提唱したマイヨールさん。「ジャックの思いを伝えたい」と親交の深かった同市坂田のダイビングショップ代表の成田均さん(69)が、書き留めたメッセージを展示している。

マイヨールさん(1927年〜2001年)は、フランスのフリーダイバー。人類で初めて水深1000mの素潜り記録を達成し、映画「グランブルー」のモデルとしても知られる。「国籍の違う弟」と慕った成田さんとは30年以上の親交があり、晩年は成田さんとの縁で館山で暮らし、館山の海を愛した。イルカを愛し、人間との共存を訴えたマイヨールさんは、人間(ホモサピエンス)とイルカ(ドルフィン)からとった「ホモ・デルフィナス」という生き方を提唱。誰とも争わず、自然と調和してイルカ的に生きようというメッセージで、平和で自然と人間が共存する世界を思い描いた。



メッセージ展を開く成田さん＝館山病院で

「もし人間の思考と精神に、われわれの兄弟であるイルカ達のインスピレーションが少しでもあつたなら、傷付けてしまった我々共通の感傷地球は、またパラダイスに戻ることができたろう」

「全ての生命は母なる地球の子どもたちである。一番末っ子の一番能力があるはずのわれわれ人間が、実は一番母親を傷つけているのではないだろうか」などマイヨールさんの世界観を感じさせるメッセージが数多く紹介されている。

成田さんは「ジャックは『人間だけが自分勝手ではないのか』と、利害にとらわれず、自然と生きるイルカの生き方を純粹な思いで実践してきた。ジャックの思いを純粋な子どもたちに伝えたい。将来的には理念を伝える『ジャックマイヨール記念館』を館山につくりたい」と思いを語っている。展示は10月2日まで。